

すまいる きづ川

夏号



もっと知りたい!
スタッフインタビュー

城陽名所めぐり
連理の枝

人間ドックのお知らせ

パートナー医院を紹介します
小西歯科医院

医療トピックス
人工呼吸器

2006 京都きづ川病院
初夏のつどい

ニュース掲示板

この人に 診て欲しいといわれる 医者になろう！

京都きづ川病院 整形外科部長

齋藤 令馬 先生



医者の不養生

人間にとって一番の幸せは何だろうと考え、行き着いた答えが「健康」でした。人は健康でなければ幸福にはなれない。病気や障害で社会からスポイルされた人々の症状を少しでも軽くして、社会参加させてあげられるのは医学だ。特に整形外科はその側面が強いと思っただのが整形外科医になった動機です。きづ川病院に赴任して約1年。現在3名のドクターでチームを組んでいますから、急性疾患のほかじっくりと腰を据えた治療を要する慢性疾患にも対応できるようになり、整形外科部長として忙しい毎日を通していきます。趣味は自動車と自転車で、昔はよくサイクリン

グを楽しんでいたのですが、腰を痛めてからは自転車には乗っていません。まさに医者の不養生とはこのことですね。

患者のニーズをまずつかめ！

整形外科に来院する患者さんの関心の的は「痛み」です。なぜ痛むのか、痛みがなくなるまでどれくらいかかるのか、です。だから私は患者さんに対し、痛みの原因はこうで、こういう治療をすればこれくらいの期間でよくなるかと丁寧に説明し、納得してもらおうように心がけています。とはいえ、患者さんもそれぞれ性格が違えば背負っている社会的背景も異なりますから、この患者さんは医療に何を求

めているかをまず知ることが肝要です。鍼灸院や接骨院等の代替治療でいいのか、あるいは病院でしっかり治療すべきなのか手術が必要なのか、はつきりとした判断を示してあげるのが病院に勤める医者たる者の責任であり役割だと思えます。

患者さんに申し上げたいのは、決して自己判断をしないこと。イタイタイという人より、痛みはないのだが…という人の方が危険な場合が多いのですから、まずきちんと専門医に診てもらい、治療の判断を仰いでください。「長時間待たされたあげく、診察時間はたったの2分よ」という患者さんの不満の声をよく聞きます。私たちがたっぷり時間をとって診察に臨みたいのですが、大勢の患者さんがい

らっしゃるのでそうもいかないのが現実ですが、少々お待ちいただいても「この先生に診てもらってよかった」と満足してもらえる医者になりたいと思っています。





看護師としてスタートしたときの あの初心を忘れずに、 誇りを持って一生続けていきたい

京都きづ川病院リエゾン病棟 看護師長 中田美智子さん



白衣の天使に憧れた 若い頃

きづ川病院で看護師として勤め始めて24年目になります。これまで整形外科を中心に患者さんと接してきましたが、現在はリエゾン病棟で主に療養患者さんやショートステイの方々のお世話をしています。リエゾンとは「架け橋」という意味で、文字通り患者さんが病院での治療から在宅で療養できるようになるための架け橋的存在です。とはいえ、介護が主ですから体力的にかなりきつい仕事、理想と現実には違いますが。子どもの頃、テレビで看護婦(当時)さんの物語を見て、その献身的な「白衣の天使」の姿に憧れ、自然にこの職業を選んだ

のです。厳しい仕事ですが、一生続けられる仕事だと誇りを持っています。なにより、私たちが努力した分だけ患者さんが回復していく。つまり「やりがい」を実感できる職業です。

初心 忘れるべからず

どのような仕事でも同じだと思ってしまうのが、長く経験を積むとそれなりの対応ができるようになり、ともすれば「ま、これくらいいいか」と要領よく仕事を流しがちになります。私はこの「慣れ」が一番怖いと思っています。経験は貴重な財産です。しかしその経験に胡座をかいてしまわずに、常に上昇志向を持ち続けることが大切だと思います。ですから看護師としてスタートしたときの、あの初心を忘れないようにと自分に言い聞かせながら、いつでも笑顔を湛え、声掛けをして、昨日より今日、今日より明日、患者さんとより良好な関係を築くように努力しています。その甲斐あつてか、患

者さんが協力して私たちの仕事を助けてくれたり、患者さん同志互いにサポートしあったり、とてもいい関係が築き上げられているのではないかと思います。あつという間の24年間ですが、この仕事を続けてこられたのはひとえに家族の協力があつたからです。私の人生を支えてくれる家族に感謝です。



「連理の枝」が 鴻ノ巣山運動公園に



ハイカーが見つけた
城陽の「連理の枝」

韓国の人気女優、チェ・ジウさんが出演する映画『連理の枝』が上映され、好評を博しています。この「連理の枝」というのは2本の木が互いに絡み合って一つの木となったもので、夫婦あるいは男女の仲睦まじい契りの例えとしてよく結婚式のスピーチなどで使用されます。出典は、中国・唐の玄宗皇帝と楊貴妃との悲恋を詠んだ『長恨歌』（白居易）にある「天にあつては比翼の鳥となり地にあつては連理の枝とならん」からで、「比翼の鳥」とは雌雄が一体となった想像上の鳥をいいます。この「連理の枝」が城陽市でハイカーによって見つかりました。

関係者によると、「何かのきつかけで枝が接触しながら生育するうちに癒着し、水分や樹液が相通じるようになったもので、非常に珍しい現象」ということ。市ではこれを市の名木・古木に認定するか目下検討中とのこと。

手をつなぎあつた姿は、まさに夫婦や恋人同士の姿

場所は城陽市寺田の鴻ノ巣山運動公園（城陽市総合運動公園）。同公園は、道路を挟んで2つのゾーンに分かれ、その広大な敷地の中にさまざまなスポーツやレクリエーションの施設が整備された一大レジャーゾーンです。「連理の枝」があ



るのは道路北側のゾーンで、バンクーバー砦といわれる施設脇の自然林の中に立っています。鴻ノ巣山散策路沿いにある道標のすぐ横です。木はソヨゴ（モチノキ科）という種類で、高さ約10メートル、幹の太さは20センチくらいの2本の木で、地上1・5メートル程のところまで直径10センチくらいの枝が斜め横につながり、互いに手を取り合い支え合っているような姿を見せています。通常のソヨゴは、根が浅く5メートル以上に成長することはないのですが、このソヨゴは互いに支え合い研鑽しあっているのか、10メートルほどの高さで成長しています。夫婦あるいは恋人同士の理想の姿を見られるような「城陽の連理の枝」、一見の価値ありの名木です。

一般市民の定期検診や企業の巡回健診で、皆さんの健康管理をお手伝い

きづ川病院健康管理センター

きづ川病院健康管理センターは市民や地元企業で働く従業員の方々に
対象に、人間ドックや脳ドックはもちろん、生活習慣病検診や定期健康診断
を実施し、皆さんの健康管理のお手伝いとして予防検診に努めています。
健康長寿の基本は、まず自分の健康状態を知ることから。家族への責任、
仕事への責任のために、定期的な健康診断を受診してください。

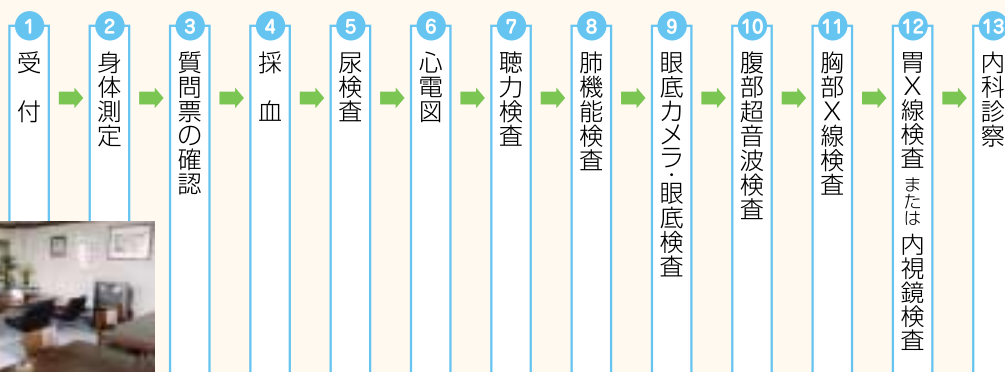
なお、地元企業の工場等へ出張して行う巡回健診も実施しています。



人間ドック		
標準(半日)ドック	1泊ドック	追加プログラム
4時間/昼食付き	個室使用(バス・トイレ付) / 特別3食付	
呼吸器系検査 循環器系検査 消化器系検査 腎機能検査 糖尿病検査 肝機能検査 すい臓検査 胆のう検査 血清学的検査 外科的検査 眼科的検査 内科的検査	左記及び血糖検査 尿糖検査	婦人科検診 (乳房触診・マンモグラフィー) 子宮ガン検査 (内診・細胞診検査) 骨粗しょう症検査 (骨密度測定) 腫瘍マーカー

検診日:月～土曜日 午前8時30分～午後5時(祝日・年末年始除く) **要予約**

日帰りドックの検査順序



脳ドック

お忙しい方のための簡易プログラムも用意いたしております。

検査内容

内科的検査 眼科的検査 尿検査 心電図 画像検査 総合診断

検診日:火曜日～土曜日 午前8時30分～午後5時(祝日・年末年始除く) **要予約**



院長
小西和彦先生

「地域に根付いた小さな町医者」を志して、昭和57年、現在地に開業した小西先生。「当時は建物の屋上から一望する景色は住宅ばかりで、思い描いていたロケーションとピッタリでした」と語る。むっくりと温かな風貌はアニメの「アンパンマン」を彷彿とさせ（失礼）、きつと子どもたちにも人気のお医者さまだろうと推測できます。それぞれの診察台にはモニターが設置され、治療中の子どもや待機中の成人患者さんにマンガやゲームを見せて退屈を紛らわせたり、恐怖心を逸らせたり、そのサービス精神はすべて「患者様一番」の思想が反映されています。デジタルレントゲン装置やレーザー機器など、地域でいち早い新鋭機器の導入もすべて患者さんの負担を少なくしたいという先生の思いから実現されたものです。そのためか、「町の小さな歯科医院」には京田辺市や伏見区、京都市内などの遠方からも多くの患者さんが来院され、診療時間はほとんどがオーバータイムだそうです。イメージ通りの町に開業できたものの、高齢社会となった今思うことは2階を診療室にしたこと。高齢者の

遠方から多くの患者さんが来院する町の小さな歯科医院

方のためにもなんとかエレベーターにしたいというのが目の前の願いです。

高齢者治療のために外に打って出る！

きづ川病院とのパートナーシップはほぼ開院時から続いており、外出できない入院患者さん（きづ川病院）のための出張治療を行っています。「出張ですから十分な機器もなく、満足のいく治療ができなかったのですが、この度、持ち運び可能な治療機器をきづ川病院さんに準備していただいたので、当院で行える治療とほぼ同程度のことができるようになりました」と語る小西先生には、きづ川病院だけでなく、萌木の村をはじめとする啓信会グループ各所の患者さんがお世話になっています。

「施設や在宅で介護を受けておられるお年寄り、歯の治療のための通院もできないという方が多くおられます。これからは、施設、在宅を問わずこのような高齢者の方への治療を行うために、なんとか時間をやりくりして積極的に外（往診）に出ようと思っています」と、高齢社会を迎えた現在の抱負を語っていただきました。



小西 歯科医院

京都府城陽市平川中道表18-14
TEL.0774-53-1910

医療ニュース&トピックス

TOPICS



現代の呼吸管理の重要な課題のひとつは、できるだけ早い段階で患者さんが自発的に呼吸できる状況を与え、無気肺の危険性を回避することにあるといわれています。きづ川病院で現在使用されている人工呼吸器は、恒常的なガス交換状況を作り出して、可能な限り自発的な呼吸を促すという

**患者さんの安全につながる
シンプルで扱いやすい
人工呼吸器**

ものです。さらに、集中治療室内で治療中の患者さんが成人であれ小児であれ、この機器ひとつで複数患者者に対応でき、しかも高機能を備えながらも取り扱い方がシンプルなので、担当者の負担も軽くなり、事故につながるリスクも低減されます。



2006 京都きづ川病院 初夏のつどい



大奈さんと共に 歌って踊って

6月17日(土)、文化パルク城陽大会議室で、「2006京都きづ川病院 初夏のつどい」が、宇治市出身のマルチタレント・大奈さんをゲストに迎え、にぎやかに開催されました。大奈さんは3年前から故郷・京都に拠点を置きタレント活動を続け、5月には新曲「脳とからだの活性化・ゴーゴーそろばん隊」を発表したばかりです。

大勢の市民が集う中、「大奈さんの歌は、曲に合わせて手足を動かし、脳を活性化させる。皆さんも脳を滑らかに、いつまでもボケないように心がけ、豊かな人生を過ごしてください」と中野理事長からオープニングの挨拶。続いて大奈さんが登場し、子どもたちの学力向上や老人の認知症対策にそろばんが役立つとスピーチ。集まった人々となぞなぞを楽しんだ後、新曲を披露。壇上に上がった子どもたちと共にそろばん体操を紹介するなど、トークあり、歌あり、体操ありの有意義な時間を過ごしました。

京都きづ川病院の理念・基本方針

理念

献身と信頼

基本方針

1. 患者さまとの出会いを大切に、期待と信頼に応えるように医療を提供します。
2. 患者さまとその周囲の人々をいやす気持ちを持って、献身的に医療を提供します。
3. 急性期医療では、質の高い医療を提供し早期退院を目指します。
4. 慢性期医療では、安心して在宅生活が過ごせるように支援します。
5. 開放型病院として、地域医療機関や福祉機関と連携を推進します。

病院内の行事や予定などのインフォメーションコーナーです。ぜひ、ご覧ください。

ニュース掲示板

ご注意ください!

2006年4月診療報酬改定により
リハビリテーションの基準が大きく変わっています。

- ・疾患別にリハビリテーションを受けていただく上限日数が定められています。
- ・下記の日数でリハビリテーションは終了となりますのでご注意ください。
- ・なお、厚生労働大臣が定める疾患等の場合は、必要に応じ上限を超えてリハビリテーションを受けられることがあります。(詳細はリハビリテーション室まで)

脳血管疾患リハビリテーション 発症・手術・急性憎悪から **180**日まで

運動器リハビリテーション 発症・手術・急性憎悪から **150**日まで

呼吸器リハビリテーション 治療開始から **90**日まで

※2006年4月改訂のため4月以前に発症および治療開始した患者さまは4月1日起算日となります。

病院のホームページができました!ぜひ一度アクセスしてみてくださいね!

<http://keishinkai.dip.jp>

糖尿病教室のご案内

病気を予防するためにも、また病気を早く治すためにも、病気について知ることは大切です。
京都きづ川病院では、毎月第3木曜日に「糖尿病教室」を実施しています。
糖尿病に関心のある方、もっと詳しく知りたい方など、お気軽にご参加ください。

糖尿病教室 開催日時

- 7月20日(木)午後2時～ 「糖尿病とは」
- 8月17日(木)午後2時～ 「運動療法について」

場所 4階講堂

講師 糖尿病外来担当医・田中先生 看護師(成松) 薬剤師(塚田)
管理栄養士(山田) 理学療法士

お問い合わせ/京都きづ川病院 0774-54-1111 林・高澤

最良の医療サービスを提供するために、皆さんからのご意見をお待ちしております。
医療に関する疑問、質問など、お気軽にお寄せください。

啓信会グループ

京都四条病院 きづ川クリニック 老健施設萌木の村 デイサービスセンターリエゾン萌木の村
訪問看護ステーションきづ川はろー 訪問看護ステーション萌木の村 ヘルパーステーション萌木の村21
ヘルパーステーションリエゾン大津 ヘルパーステーションリエゾン大久保 在宅支援センター萌木の村 ヘルパースクール萌木の村
ヘルパースクール萌木の村大久保校 ヘルパースクール萌木の村大津校 グループホームリエゾンくみやま



医療法人 啓信会 京都きづ川病院

診療科目 内科・循環器科・消化器科・神経内科・放射線科・小児科・外科・
肛門科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・形成外科・
麻酔科・リウマチ科・リハビリテーション科

受付時間 午前8時30分～午前11時45分

*午後・夜・日・祝は休診 *内科系はきづ川クリニックにて診察

〒610-0101 城陽市平川西六反26-1 ☎0774-54-1111 FAX 0774-54-1119
URL <http://keishinkai.dip.jp>



近鉄京都線「久津川」駅から徒歩15分
近鉄京都線「大久保」駅からタクシー10分